

【特集：日系企業の中国展開】

日系企業の中国展開 ～激変する市場環境への対応と現場からの展望～

服部 健治

2016年11月5-6日、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて、中国経済経営学会全国大会が開かれた。11月5日には一般財団法人霞山会の協賛により「日系企業の中国展開～激変する市場環境への対応と現場からの展望」を共通論題とする報告と議論が行われた。

中国経済は「世界の工場」として世界経済の拡大を牽引し、リーマンショック直後には世界経済の落ち込みを巨額の景気対策で下支えした。しかし、「新常态」と表現されるその後の中国経済は、景気対策の後遺症への対応と内需主導型成長方式への転換に苦心している。この間、各種調査では中国市場に対する期待は依然強いものの、日本からの対中新規直接投資も低調に推移し、一部では少なからぬ事業の撤退も発生していることが示されている。他方、中国における激しい経営環境の変化に対応して長く事業を継続してきた日系企業があることも事実である。

以上の認識のもとに、今回の共通論題では、中国経済の変化をくぐり抜け、日系企業の中国拠点の経営現場を率いてこられた現地経営者をお迎えして、経営環境の変化への対応のあり方をうかがい、両社の展開を切り口に、中国経済の今後と日系企業の中国ビジネスの可能性を展望するための議論が行われた。

当日は厳善平当学会会長の開会挨拶、池田維一般財団法人霞山会理事長による協賛挨拶の後、報告・議論に入った。本特集では共通論題における報告と議論の記録を会員各位に供することとした。

登壇者

座長・整理解説 服部健治 中央大学大学院戦略経営研究科教授

報告者 越智博通 北京陸通印刷有限公司董事長

報告者 中山国慶 トランス・コスモス株式会社 常務執行役員 中国事業本部担当
大宇宙信息創造（中国）有限公司董事長

予定討論者 海上泰生 日本政策金融公庫総合研究所 主席研究員

（はっとり けんじ・中央大学）